

メータオ・クリニック支援の会 (JAM) 会報メール 第37号

[2011年12月号]

メータオ・クリニック支援の会 (JAM) 支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第37号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ/ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動を毎月中～下旬ごろ、会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしく願いいたします。

<目次> [ページ]

Mae Tao Clinic オリジナルTシャツ追加販売!	[2]
JAM オリジナルカレンダー2012も販売!	[3]
メソトマンスリー	[4]
新現地スタッフのブログ更新中!	[6]
ライフストーリー	[6]
国内から (渡邊 稔之)	
・ 私と国際保健、JAM との出会い	[11]
シンシア医師の本 発売中!	[12]
編集後記	[12]
次号の予定	[13]



Mae Tao Clinic オリジナルTシャツ追加販売！

先月の会報でご案内したオリジナルTシャツ！

大反響につき、追加注文を受け付けることになりました！

ファンドレイジングの一環としてメータオクリニックで販売されています。

売り上げは、全額、メータオクリニックに寄付されます。
注文締め切りは、1月11日です。

デザイン



表：health as human rights



裏：Mae Tao Clinic

色：白と黒の2色

サイズ：S～XL。

価格：1枚 1,500円

お申し込みはメールでのみとさせていただきます。
なお、注意事項をご確認の上、お申し込みください。

<お申込み期間> ～24年1月11日まで。

締切日までに注文があった数を現地にまとめて発注します。

<ご購入までの流れ>

① Tシャツ購入希望のメールを日本事務局にお送りください。

日本事務局宛てEメール：support@japanmaetao.org

件名に「Tシャツ購入希望」とお書きください。

本文に下記の項目のご記入をお願いいたします。

1. お名前
2. 郵便番号、ご住所
3. メールアドレスなど申し込みの方と必ず連絡がとれるご連絡先
4. JAM会員の有無
5. ご希望の色、サイズ(サイズ表をご参照ください)

② 日本事務局から振り込み先などを記載したメールが届きます。

(万が一、メール送信から5日経っても連絡がなければお手数をおかけして申し訳ございません)



が、再度メールをくださいますようお願いいたします。)

- ③ 日本事務局からのメールをご確認後、ご入金(ご購入金額+送料 500 円)をお願いいたします。
- ④ ご入金を確認でき次第、発送時期をお知らせいたします。

【ご注意事項】

- ・発送方法は、日本郵政のレターパック 500 とさせていただきます。ご購入枚数が多い場合は、メールでのお申し込みの際にご相談ください。
- ・原則と致しまして、ご返品・交換はお受けいたしませんのでご了承願います。

サイズ表 (単位:cm)

	身幅	着丈	肩幅	袖丈
S	84	57	37	15
M	92	64	41	18
L	98	69	42	21
XL	115	76	51	24

JAM オリジナルカレンダー 2012 も販売!

先日、賛助会員の皆様のご住所にお届けしたカレンダーも、発売しております。

1冊からでも、**大量注文**も、**大歓迎**です。
1冊、1000円です。こちらは、送料込みとさせていただきます。

<購入希望の方>

ご注文は、メールで承ります。

日本事務局宛て E メール : support@japanmaetao.org に
タイトルに「**カレンダー購入希望**」と書いてください。

本文に

- ①お名前
- ②郵便番号、ご住所
- ③ご連絡のつくメールアドレスなどの連絡先
- ④会員の有無
- ⑤希望冊数

をご記入の上、日本事務局までメールでお申し込みください。



<ご購入までの流れ>

①カレンダー購入希望のメールを日本事務局にお送りください。



②日本事務局から、在庫を確認し、振込み先などを記載したメールが来ます。

(もしも、メール送信から、5日たっても連絡がなければ、お手数をおかけいたしますが、再度ご連絡をください)



③日本事務局からのメールをご確認後、入金をお願いします。

(お振込みいただく口座は、ゆうちょ銀行です)



④入金を確認できしだい、発送をいたします。

注意：事務局住所はスタッフが常駐していないため

申し込みは、メール限定です。ご了承ください。

カレンダーの売り上げも、Tシャツと同様、
全額、メタオ・クリニックの院内感染予防活動

および移民学校における保健活動等の事業に使わせていただきます。

数に限りがありますので万が一、売り切れの際は、ご容赦ください。

ご希望の方はお早めに。

メソトマンスリー

移民学校の現状：しかるべき支援とは？



【メソト＝前川 由佳】

現地の様々な理由により、現在移民学校への支援は以前にも増して厳しい状態となっています。学校の先生に支払われるべき毎月の給料は7ヶ月間滞り、学校の運営費への支援も行われていない状態が続いています。土地の借地料、毎日かかる光熱費、生徒の送迎用の車のレンタル代など学校を続けていくために必要な経費は先生達が知り合いに借金をしたり、地域の人々の力を借りたりと、それぞれの学校が努力をしてなんとかギリギリのところまで持ちこたえているのが現状です。教えている先生方にも自分の生活があります。貰えるはずの給料で養わなければならない家族がいます。食べていくためにやむを得なく、教師という職を離れていく人もいます。



このような状況の中 「日本のボランティア NGO」の私の下へは様々な声が届けられます。自分の知り合いの学校への支援がなくなって困っているんだ、この先生が運営費を借金していていつまでにかえさなければいけないのだけど力を貸してくれないか、これが支払えなければ明日から学校が開けなくなってしまふんだ、など。

数カ月間は我慢してきた学校の緊急状態…しかし、待てども待てども改善されない支援体制に学校の不安と支援への要望は少しずつ聞こえてくるようになりました。

海外からの NGO としてどのように現地での支援を行っていくか理解していたつもりだったこと、そこにある支援体制を理解してどこにアプローチをするべきなのか、時間を取って判断し、しかるべきところへ支援していく。

一方、学校の現状を涙ながらに説明する先生に直面する、これがないと学校を閉鎖するしかなくなってしまふんだ、明日から生徒が学校に通えなくなってしまふんです、と。個人として何かしたいと感じる心と NGO としてすべき対応を考える頭。急を要する判断を求められことが多い移民学校の現状だからこそ、何かしたいと思う心を感じつつ、冷静に時間を取ってしかるべきアプローチを見つけることが大切なのだと思改めて感じています。



きょうのゆめ

今月の主役はマキンピョーちゃん、10歳。バゴー州のシンユア村から来ました。

Hope School 設立当初から幼稚舎に通い始め、今では小学2年生です。

将来の夢は、お医者さんになること。学校で勉強するのが好き。好きな教科は数学だそう。勉強好きでしっかり理系のマキンピョーちゃん。新しい校舎ができて嬉しいと、勉強にもさらにやる気が出ているかな？



新校舎オープニングセレモニーで歌を披露してくれたマキンピョーちゃん。(写真中央)

新現地スタッフのブログ更新中！

現在、現地スタッフとして赴任した看護師、前川由佳のブログです。

人、想い、メータオへ。

<http://omoimaetao.blog.fc2.com/>

現地の様子や現地での彼女の生活っぷりなど、不定期に更新の予定です。

ぜひ、ごらんください。

ライフストーリー

メータオクリニックで働くビルマ人スタッフが患者さんたちのライフストーリーを自分の言葉で綴りました。

懸命に生きる彼らの言葉をお聞きください。

http://maetaoclinic.chicappa.jp/blog/borderless/MTC_Lifestories_small_file

↓和訳 (JAM)

<http://maetaoclinic.chicappa.jp/blog/borderless/lifestories>

国内から

私と国際保健、JAMとの出会い

【東京＝渡邊 稔之】

日頃より JAM をご支援いただき、ありがとうございます。JAM の事務局では数少ない学生メンバーの1人、東京医科歯科大学4年の渡邊稔之と申します。JAM に関わるようになってまだ半年と日も浅いですが、今回は自己紹介も兼ねまして、私と国際保健、JAM との出会いについて書かせていただきたいと思います。

私が高校2年生だったとき、将来文系に進むか理系に進むかで迷っていました。文系に進むなら、国際関係を学び、外交官か国連職員になって難民問題に取り組みたいと漠然と思っていました。そして理系に進むのなら、化学を学び、研究者として地球規模の環境問題に取り組

みたいと、やはり漠然と思っていました。

私は元々文系科目の方が得意だったのですが、昔から理科全般、特に化学が好きで、文系に進学しては化学の研究者にはなれないということが決め手で理系を選び、大学では工学部に進学したため、国際・難民関連の進路は断念し、しばらく忘れてしまっていました。

大学入学後は、4年かけて徐々に環境問題よりも健康問題の方に興味移っていったため、工学部卒業後、大学院で公衆衛生を学ぶことに決めました。公衆衛生を学び始めて気がついたのは、実は国際保健と公衆衛生学は切っても切



れない関係にあるということでした。そして、巡り巡って、高校の時に一度捨てたもう一つの夢の方に近づきつつあることに気がつきました。

ただ、高校の時の私と異なるのは、やりたいことが国際関係ではなく国際保健になっていたということでした。しかし、工学部出身の私はヒトの身体に関する知識を全く持っておらず、患者さんを直接治療することも出来ません。進路を迷った末に医学部に編入学し、再び大学生活を送ることとなりました。

大学3年生の冬、寄生虫学の講義にJAM代表の小林潤先生が来られ、1コマ国際保健の講義をされました。講義が終わった後に追いかけて名刺交換した時に、「こんな会をやっているの、よかったら来てみてよ」と誘っていたのがJAMでした。

名刺をいただいてからも、講義・実習・試験のすさまじい忙しさに圧倒され、しばらくは課外活動をする時間的・精神的余裕もありませんでした。さらには大震災が起き、新学年が始まり、なかなか生活が落ち着きませんでした。それらが一段落した5月から、JAMに関わらせていただいています。

この8月には、実際にメーソット、メータオクリニックを訪れさせていただきました。クリニックに滞在したのはわずか半日でしたが、自分にも何か出来ることがあるはずだと思う反面、まだまだ学ばなければならないことは多く、私が現場に立つまでの道のりは長いな…と感じざるを得ませんでした。

JAMに入らせていただいてよかったのは、国際保健の「現場」がぐっと近く感じられるようになったということ、机上で考えることと実際に現地で行うこととのギャップの大きさが感じられたこと、そして、自分が何を学ばなければいけないのかということが、わずかながらもより明確に見えるようになったことでした。

簡単ではありますが、私とJAMとの出会いはこのような感じでした。スタッフの皆さんはみんな優しく、それぞれが仕事と両立させながら活動している団体です。少しでも興味を持たれた方がいらっしゃいましたら（学生の方でも）、ぜひ一度、現地に足を運んでみませんか？

先月の「週間医学界新聞」に、元WHO西太平洋地域事務局長の尾身茂先生に渡邊がインタビューさせていただいた時の記事が掲載されています。よろしければご覧ください。

http://www.igaku-shoin.co.jp/paperDetail.do?id=PA02952_01

シンシア医師の本 発売中！

『タイ・ビルマ 国境の難民診療所— 女医シンシア・マウンの物語』

(新泉社、1800円)

全国の書店、またはアマゾン等で発売中です！！

当会が編集協力した『タイ・ビルマ国境の難民診療所—女医シンシア・マウンの物語』



(新泉社、定価 1800 円) が発売中です。

本書は、当会の支援先であるメータオ・クリニックとその創始者シンシア・マウン医師に焦点をあてたものです。

当会は、さまざまな現地情報の提供、スタッフの梶藍子看護師による体験記の収録等で協力しました。

本書の印税は、当会を通してクリニックへ全額寄付されます。

編集後記

先日、結婚式があったので飛行機で伊丹空港経由で奈良に行ってまいりました。

さて、皆様、たむすは、食べたことがある方も多いかと思います。
えびのてんぷらがおにぎりに入っています。名古屋名物です。

では、「たこむす」は、ご存知でしょうか。



なんと、中身は、たこのてんぷらではなく・・・

たこやき!!!
ご飯とたこ焼き!

大阪の人は、別に何ってことはないけど、東京の人が仰天するらしいコラボレーション。

伊丹空港の売店にありました。
ぜひ、大阪に行くことがあれば、ご賞味ください♪
あと、やっぱり、大阪はたこ焼き屋さんが多かったです。
住んでいたときは気に留めなかったけど。

今年もあたたかいご支援を本当にありがとうございました。
ささやかでは、ございますが、会員登録をいただいているご住所あてに JAM のカレンダーを送らせていただきました。(12月11日発送)

来年も、どうぞよろしくお願ひいたします。



